

# 事業報告書

第43期

(自)令和2年4月1日

(至)令和3年3月31日

社会福祉法人 秀幸福社会

庄栄エルダーセンター

大阪府茨木市庄二丁目 7-38

# 社会福祉法人 秀幸福社会

## 令和2年度 事業報告書 要約

### ★高齢者施設・庄栄エルダーセンター

#### <入所・ショート>

ショートステイに関しては、4月中旬に出された茨木市の通達により、5月下旬まで受け入れを最小限にした結果、稼働率が大幅に下がりました。その後は、感染症予防策をしっかりと講じて、利用者数を伸ばしたものの、前年度を割ってしまう結果となりました。対して、入所は、体調の安定された利用者様が増えたことにより、前年度と比較して、空き日数が1,576日減になりました。

#### <庄栄エルダー診療所>

管理医師の指導の基、最新の情報をもとに、物品の準備・環境の整備・新型コロナウイルス感染症の学習会、ガウンテクニックの研修を行いました。また、その他の疾患において連携医療機関の受診、入院に繋げることが難しく、そのため保健所への連絡、救急搬送時連絡系統や感染に配慮した移動手段の検討等に時間や配慮を要しました。

#### <庄栄エルダーヘルプステーション>

前年度と比較して、思う様に時間数を上げる事は出来なかったものの、ヘルパー自身がいつ、濃厚接触者となるかもしれないという不安をかかえる中、ヘルパーの悩み、苦しみをいつでも自由に聞ける環境を整えた事でヘルパーのメンタル面をしっかりとフォローすることが出来ました。

#### <庄栄エルダーデイサービス・認知症対応型デイサービス>

令和2年度より、稼働率の向上・回復の策として7月より延長サービス（8-9h）を開始致しました。また機能訓練もニーズがあったものの、実施に至っていなかった土曜日の機能訓練を8月より開始しました。すぐに効果があがり、6月の稼働率が68.7%だったのが9月では75.3%と約7%の向上がみられました。

#### <ケアプランセンター>

感染拡大防止のため、各ケアマネに携帯電話が支給され、リモートワークでの業務もスムーズに行うことができ、ご利用者・ご家族へ安心感をもってもらうことができました。

#### <栄養管理課>

令和2年度は全体実績が前年度比111.9%、目標比は84.4%と目標に達しなかったものの前年度を上回る結果となりました。令和2年度から市の見守りサービスの回数が週3回から回変更となり、利用食数の減少がみられたものの、自費サービスの案内を強化したことにより利用食数の増加へと繋がりました。

#### <茨木市地域包括支援センターエルダー>

新型コロナウイルスの影響で思うように活動が出来なかったが、高齢者のフレイル予防のため、担当利用者、介護保険新規申請者に対し、運動や活動の大切さを啓発、リハビリ導入などこまめに働き掛けを行いました。

#### <東・白川 地域包括支援センター>

新型コロナウイルスの中ではありましたが、地域ケア会議は、年 6 回の開催目標を達成致しました。また、地域住民からのご相談も感染対策を講じた上で、今までと変わらず行い、相談回数も維持致しました。ご自宅への訪問相談にも随時対応致しました。

#### <茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業>

令和 2 年度も新型コロナウイルス感染症のため、活発な動きは出来ませんでした。その反面、これまでになかったオンライン会議や対象者とのメールでの相談受付など、非接触型支援が試行できたことは、今後同様の事態や災害時にも活かせることが、関係者と共に認識できたことは、大きな収穫でした。

#### <地域密着型認知症対応型デイサービスセンター未来>

2020 年 4 月 7 日に国から緊急事態宣言が出た際に、家族様からの要望により、通所を控えられた方が 3 名おられました。未来の感染予防を家族様やケアマネにアピールしたことにより 5 月には全てのご利用者が未来に戻って来て下さいました。年間売上につきましては、昨年対比 101.1%となりました。

### ★障害施設

#### <相談支援ひまわり>

委託事業においては、茨木市障害者地域自立支援協議会の部会において、研修啓発プロジェクトチームの座長として活動しました。障害福祉フェスタでは、オンライン研修やYouTube配信による、全 7 回の連続講座を開催した  
指定事業においては、電話等によるモニタリングや支援会議が中心となっているため、大きく減収とはならなかった。

#### <ひまわりの杜・ファーム大岩の杜>

地域活動支援センターとしての基礎事業である「余暇活動支援(創作活動)」の運営と、機能強化事業である「リワーク(就労)支援」「生活支援」の実施を目標に、ひまわりの杜では、「障害者アート」を軸に活動を展開し、成果を上げました。ファーム大岩の杜では、内職作業場を 1F に移し、身体障害者の利用促進を行った。また、農作業を主軸としつつ、新たに外部清掃作業にも取り組みました。

#### <高齢者・障害施設共通項目>

令和元年より、世界的に猛威を奮っている新型コロナウイルスにより、令和 2 年度は高齢者・障害施設ともに多大な痛手を受けました。

高齢者・障害施設に勤める職員に対してコロナ慰労金が総合計 253 名に ¥17,300,000 が

支給されました。そして新型コロナウイルス対応のための助成金を申請し、茨木市より高齢者・障害施設に合わせて¥1,200,000、高槻市からは、¥100,000 が支給されました。また、厚生労働省からは高齢者施設に¥250,000、大阪府からは、高齢者・障害施設合わせて¥15,088,000 の支給を頂き、室内除菌装置 22 台、無線 LAN 設備工事、PC15 台等様々な物品の準備、環境の整備を講じました。この様に利用者様に安心して利用して頂ける環境を整え、職員一人ひとりが感染源にならないよう予防策を講じる事で、高齢者・障害施設ともにクラスターの発生には、繋がっておりません。



## 令和2年度 特別養護老人ホーム・ショートステイ事業報告

### ○R2 年度実績報告

#### <特別養護老人ホーム>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
目標人数(名)	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,568	1,736	20,440
利用人数(名)	1,523	1,592	1,597	1,686	1,679	1,593	1,639	1,598	1,646	1,656	1,445	1,690	19,344
空き日数(日)	157	144	83	50	57	83	97	82	90	80	123	46	1,092
前年比(%)	99.7	105.6	111.8	111.4	115	109.3	99.5	103.3	102.7	116.5	111.5	113.5	108.3
目標比(%)	90.7	91.7	95.1	97.1	96.7	94.8	94.4	95.1	94.8	95.4	92.2	97.4	94.6

定員に対する空き日数 前年度比較 1,576 日減

年度間退所者数 - 12名 前年度比較 9名減

#### <ショートステイ>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数(名)	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300
利用人数(名)	402	259	590	630	603	695	689	633	685	657	601	642	7,086
前年比(%)	61.6	39.1	106.3	117.5	86	123.4	114.6	114.7	105.2	92	87.1	94.4	95.2
目標比(%)	67	41.8	98.3	101.6	97.3	115.8	111.1	105.5	109.7	106	103.6	103.5	96.8

利用人数 前年度比較 473名減

年度間新規利用者数 - 109名 前年度比較 31名減

### ○R2 年度特別養護老人ホーム・ショートステイ共通報告

中長期計画「職員の育成」に基づき、運営

#### ・介護職員の年度間 入退職状況

入職者(常勤職員) … 4名

(非常勤職員) … 6名

退職者(常勤職員) … 4名

(非常勤職員) … 5名

人材派遣会社からの紹介による入職者が多く、紹介料が多く発生している。

派遣介護職 2名(週1~2日 日勤1名 R3/6末まで、週2回 早出1名 R3/5末まで) 継続中。

#### ・人材育成について

内部研修 … 事業計画通りの内容で毎月学習会を実施(緊急事態宣言下では資料配布のみ)。

新入職員研修についても資料配布のみ。

外部研修 … 新型コロナ肺炎流行のため、感染予防の観点から受講せず。

研修計画に沿った受講がかなわず、個人の知識、技術習得度状況に合わせた資料等の提供が難しく、スキルアップに差が出やすい年となった。

・新型コロナ肺炎等感染症予防について

- ・12月下旬、介護職員1名が体調不良のため医療機関を受診、新型コロナウイルスに感染していることが発覚し、保健所に連絡。要観察期間に利用していた特養、ショートステイ利用者と勤務する職員（介護、看護、相談職）全員にPCR検査を受けるよう指示があり実施。結果、無症状の介護職員1名の感染が発覚。感染が判明した職員については、保健所が指定する経過観察期間からさらに2週間自宅待機を指示、確実に新たな感染を引き起こさない状態となってから職務復帰してもらった。その他感染者はみられていない。

・感染予防策として、

- ・各職員は出勤前、出勤時に検温を実施
- ・各職員はマスクを着用、利用者と密になる場面ではシールドも着用
- ・各職員は消毒用アルコールを常時携帯
- ・各フロア一次亜塩素酸加湿器を連続運転
- ・定時に共用部分のアルコール消毒を実施

上記対応実施、今後も継続する。

・コロナウイルス対応のための助成金を申請し、支給される

- ・オンラインで面会実施、必要な研修の受講等ができるよう、施設内にWi-Fi環境を整備
- ・上記に使用するパソコンを購入
- ・フロアに設置する次亜塩素酸加湿器を購入
- ・マスク、シールド等感染予防に必要な消耗品の購入

上記の感染予防対策に利用した。

## ○R2年度特別養護老人ホーム事業報告

- ・利用者平均要介護度 4.4 （男性 4.2 女性 4.4） 前年度比較 -0.1

・空床減への対応

- ・長期入院が予測される場合には、一旦退所手続きを取っていただき、新たに選考順位上位者から入所していただく
- ・急な退所者が出ても、早期に次の利用者に入所していただくよう、その前提でロングステイ利用者を獲得する
- ・退院時にはコロナウイルス流行の点から、個室対応となるため、ショートステイ利用者の部屋使用状況を確認の上、受け入れ日時を決定する

上記対応を徹底し、昨年度比較1,576日分空床を減らすことができた。

- ・利用者体調管理、感染症予防について
  - ・利用者様に発熱、咳等の症状がみられるときには、個室で対応
  - ・個室対応中職員はマスクとシールドに加え、専用ディスポガウン、グローブを装着
  - ・退院後の受け入れについては、無症状でも一週間個室で感染症発生時に準じた対応を実施

## ○R2 年度ショートステイ事業報告

- ・利用者平均要介護度 3.1（男性 2.7 女性 3.2） 前年度と変化なし
- ・R2/4～5月の稼働状況について
 

4月中旬、茨木市より「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく介護事業所（通所・短期入所サービスに限る）への要請について」通達があり、ショートステイの受け入れを最小限にとどめ、自宅で過ごすことが可能な利用者様についてはサービス利用を控えていただいた。5月下旬まで同対応を継続。そのため稼働率が大幅に下がり、年間利用者数も前年度を割っている。
- ・緊急事態宣言下等の利用傾向
 

ショートステイはレスパイトや家族不在時の利用も多く、緊急宣言やまん防下においては家族が自宅にいる時間が増え、予約をキャンセルされる方が一定数あった。キャンセル待ちや利用延長希望者へ連絡し、稼働率を維持した。
- ・ショートステイ入所時の感染症予防策
  - ・利用前日に本人の体調、他サービスの利用状況、他者との接触状況、また家族の体調や生活状況を電話で確認
  - ・送迎車のアルコール消毒
  - ・当日自宅へ迎えに上がった際に検温を実施
  - ・到着時に再度検温、その後利用フロアにて体調チェック（バイタルサイン測定、風邪症状等確認）  
上記チェック時に異常がみられれば、その時点で利用を見合わせる。今後も同対応を継続する。



## R2年度 診療室事業報告

R2年度診療室では、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、

- 1 医療職として「清潔な環境」「正しい知識と情報」「美しいケア」を提供し健康で安全にすごしていただける施設づくり
  - 2 診療室スタッフそれぞれが自身の最大限の力を発揮し、協働しながら、笑顔で働きやすい職場づくり
- を、目標に取り組みを行った。

### <利用者動向>

- ・今期の病院受診者数は前年に比べ約4割減、入院者は、約半数となった。ほとんどが発熱SPo2低下からの入院であり、嚥下機能低下による誤嚥性肺炎や尿路感染症、胆のう炎などであった。他には脳梗塞、心疾患、骨折などの入院があった。また認知症の内服薬調整など精神科入院においては長期化する傾向がみられた。退所者は前年に比べ、半数となっている。
- ・酸素療法、胃ろう、吸引、インスリン、バルンカテーテル、ストーマ、人工透析などの医療ケアを必要としている利用者が増加し、医療面でのアクシデントリスクも高くなっているが、スタッフ間の協働により、安全にケアが提供できた。

### <受診、入院について>

- ・今までと違い、コロナ感染症だけでなく、他の疾患に対しても医療機関への受診、入院、につなげることが難しく、保健所への連絡、救急搬送時連絡系統や感染に配慮した移動手段の検討など、今までの受診以上に時間や配慮が必要となった。
- ・コロナ感染症が治まらず、医療がひっ迫する中、福祉施設としてどこまでの医療対応が必要とされるのか、課題である。

### <健康管理>

- ・職員の健康診断を朋愛会、また入所者XP撮影は今年度、いのメディカルに依頼。ポータブル撮影が可能となり、施設内で実施することができた。病院での実施に比べ、利用者への負担も少なく、コロナ対策にも有効であったと考える。
- ・インフルエンザワクチン接種についても、施設医の協力で利用者、職員希望者全員に接種することができた。接種時には密状態にならないよう、接種場所を玄関に設置するなど感染対策をとり、実施を行った。
- ・コロナワクチン接種については、希望やアレルギーの有無を事前調査、大阪府や茨木市と連携をとり、施設内接種のための準備を行った。

#### <コロナ感染症対策について>

施設内また在宅でも徹底した感染対策が必要とされた。施設医からのアドバイスを受け、医療面から常に新しい情報をもとに次のことを行った。

- ① 物品の準備（消毒液、非接触型体温計、パルスオキシメーター、ガウン、フェイスシールドなど）
  - ② 環境の整備（消毒、換気、次亜塩素酸による除菌）
  - ③ コロナ感染症の学習会、ガウンテクニックの研修
- ・発熱者が発生した場合、またコロナ感染症が発生し、施設内での待機が必要になった場合を想定した職員配置や業務担当を話し合い、マニュアル作製し、発生予防や発生時に対応できるようにした。
  - ・コロナ感染症の発生時には、保健所の指導のもと、濃厚接触者調査、入所では利用者、職員全員に対してPCR検査を実施。十分な感染症対策をとりながら、経過観察後、新しく感染者の発生はなく経過している。
  - ・感染症を持ち込まない環境ということで、換気や清掃、体温測定、消毒の徹底、スタッフだけでなく、利用者 利用者家族、業者、見学者協力を得ることができた。
  - ・面会については感染状況を考慮しリモート面会の形を継続している。
  - ・退院者への対応としてはコロナ対策として退院後原則 1 週間の個室管理を行っており、引き続き行っていく。
  - ・熱発者や体調不良者が発生した場合にはマニュアル、研修をもとに隔離対応をしているが、利用者自身が事態を理解できず、マスクができない、部屋にいないことができない、転倒のリスクがあるなど課題は多い。
  - ・コロナ感染症の流行が長期化し、利用者、利用者家族、スタッフ心身共に疲弊する状況の中、まだ気をゆるめることが出来ない状況が続いている。クラスター発生なく、ワクチン接種が安全に行えるようコロナ終息にむけ、万全な体制の検討を続けていく。

#### <看護師 理学療法士の入職について>

- ・9月、11月に秦ナース、石田ナースが入職。病院での経験を活かしながら感染対策を含め、多くの業務に積極的に取り組んでいる。
- ・ショートステイ利用者へのリハビリ強化として、小片理学療法士が入職。
- ・今後もナース、理学療法士それぞれが力をあわせながらチームとして動ける診療室を目指す。

R2年度年間業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者	採血 心疾患者 ECC (毎月)					結核検診 胸部レントゲン (9/10) 52名	インフルエンザ ワクチン接種 10/7~12/2 56名	インフルエンザ ワクチン接種 56名	インフルエンザ ワクチン接種 インフルエンザ ワクチン接種 10/7~12/2 56名	インフルエンザ ワクチン接種 エルダー158名	インフルエンザ ワクチン接種 保育80名	
職員	管理栄養士検便 ヘルパー検便			職員検診 (X-P (B) ECG 検尿 問診 検診 検便 採血) (7/21 23)エルダー138名 保育40名						夜勤従事者 検診 (検尿 診察) 1/31 17名		
診療所	第2火曜日 ミーティング											
備考	腰痛体操 風呂水塩素 チェック 3回/日 浴槽消毒 2回/月	医療廃棄物 処理報告 (4/29)		風呂水検査 (レジオネラ菌 大腸菌・濃度 過マンガン酸k) (7/20)	医療廃棄物 処理申請 (7/20)					酸素申請1/19 風呂水検査 (レジオネラ菌 大腸菌・濃度 過マンガン酸k) 1/21		

- ・地域生活相談活動
- ・経済支援組織活動

○利用者動向

	R2	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3	1月	2月	3月	合計
入所	4/8 小野栄 4/28井澤道子	5/12安岡隆子 5/23林 文子	6/16雨宮吉子	7/1轟木以都雄 7/8岩田美子 7/9原 喜世子	8/27泉さよみ 8/27小森一哉	12/8田中淑子	1/4大橋達子	2/10吉澤希子	3/1北藤 伊三男 3/4石塚剛子	合計	15名				
退所	4/22福井富貴子	5/12増田 佐智子 5/28山田 章子	6/6 岡本節子	8/24石田テル子 8/24横谷照代	11/20 井澤達子 11/9 斎藤千代	12/23野村ケイ	2/8 今井三代 2/27 谷口 光 2/27山形俊典	合計	12名						
入院	増田2/7~< 山田2/21~< 石田4/11~13 岡本4/23 秋田~4/1 福井1/6~4/22	5/12 5/28 石田5/12~23 山本5/17~26	山影8/5~15 6/22 中井6/6~17 6/6 山本6/1~5 笹田6/10~18	7/7 横谷7/11 築瀬7/22 大藪8/18	山影8/10~21 8/24 8/7	中村9/15 福井9/15~18 笹田9/12 板田9/8	10/13 谷口10/19~28 高谷10/24< 井澤 10/31< 11/2 11/20 10/26 10/12 小森11/30 11/2 11/9 11/25	野村 11/18< 北村11/16~27	山影1/2< 今井2/7~8 北村2/12< 2/27 高谷3/4~10 笹田2/14< 横田1/9~27 1/9	12/23 濱田12/11~31 板田 12/2<	1/4大橋達子	2/10吉澤希子	3/1北藤 伊三男 3/4石塚剛子	合計	15名

内科	1	6	7	10	5	3	4	3	5	1	3	6	54
整形	1	6	3	3	2	4	3	3	1	3	3	2	34
外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	6
皮膚科	1	2	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	7
脳外	2	0	2	2	4	1	0	3	1	1	2	2	20
眼科	0	0	0	2	3	1	1	0	2	0	0	0	15
神経科	1	2	3	3	1	1	6	4	4	1	3	2	31
泌尿器	0	0	0	0	0	0	4	5	3	3	3	4	22
乳腺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急外来	2	1	8	3	0	1	0	3	0	2	3	3	26
その他	2	1	3	3	1	5	1	0	0	1	1	0	18
合計	10	18	27	28	17	22	19	22	16	14	20	20	233
ショート	1	8	9	7	6	7	9	3	2	4	2	4	62

入院日数	94	93	53	38	57	92	105	76	78	84	123	45	938
------	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	-----

## 栄養管理課における事業報告書

### ・配食実績報告

配食実績表（令和2年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	932食	1000食	953食	955食	904食	977食
前年比	104.0%	105.3%	112.9%	106.6%	103.2%	109.4%
目標比	79.7%	85.5%	81.5%	78.6%	77.3%	83.5%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	1018食	1022食	996食	934食	965食	1154食
前年比	110.7%	111.7%	119.0%	118.4%	113.0%	130.8%
目標比	83.8%	90.8%	82.0%	86.5%	89.4%	95.0%

令和2年度全体実績として、前年度比111.9%、目標比84.4%となり、前年比を上回る結果となった。1年間の合計食数が11810食、平均食数が984食であり、昨年度の平均食数と比較すると100食以上を上回った。民間の配食サービス会社が増加しているが、新規利用者の獲得に努め利用者様やケアマネージャー様の意見を反映させた弁当作り・個別対応を行っていく。

### 《実費負担食数の推移》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実費負担食数	344食	398食	360食	326食	322食	363食
総数に対する割合	36.9%	39.8%	37.8%	34.1%	35.6%	37.1%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実費負担食数	358食	404食	394食	369食	385食	486食
総数に対する割合	35.1%	39.5%	39.5%	39.8%	39.9%	42.1%

実費利用数は昨年度と比較すると1.5倍～2倍ほど増加している。また、過去の実費利用数と比較しても令和2年度が1番多い食数であった。デイサービス利用時の持ち帰りサービスを開始したこと、単発的な利用・毎日利用の案内強化によりお問い合わせをいただくことが増え、利用に繋げることができた。

### 《業務内容》

- ・ 安否確認
- ・ 臨時利用の受け入れ（自費負担）
- ・ 行事食、行事カードの実施
- ・ 個別対応の実施（ご飯の硬さ・量、嗜好の把握、禁止食、お届け時間など）
- ・ リクエストカードの配布及び実施
- ・ 試食の実施（無料）
- ・ 他事業所へ営業
- ・ 献立表の配布
- ・ 栄養士の一口検食の実施
- ・ デイサービスご利用者様へ配食案内を記載した給食だよりの配布

## 《 課題 》

### ・新規ご利用者様の獲得

- 1、毎月各事業所にご挨拶をかねて訪問し、配食サービスのご案内をする事で庄栄エルダーセンター配食を知っていただくとともに、利用者様の利用状態なども伺う
- 2、ひだまり、ホームページに配食サービス案内や写真、献立表などを掲載し、具体的な配食サービス内容がみてわかるようにする
- 3、新規利用者様の利用開始時には、栄養士も同行し利用者様のご状態や生活状況などを把握する
- 4、お一人様1回のみ無料での試食を実施し最初の利用を利用しやすくする
- 5、毎月他事業所からの新規利用者紹介を2件以上を目標とする

### ・現在ご利用者様の利用継続

- 1、弁当の内容を充実させ飽きのこない弁当作りを行う
- 2、定期的にご要望を聞き取らせていただく機会を設けてすぐに対応していくよう努める
- 3、リクエスト頂いた料理を献立に反映していく
- 4、その時のご状態にあったお食事内容を提案させていただき、状態の変化による利用中止がないように努める

## 《 まとめ 》

令和2年度は全体実績は前年度比111.9%、目標比84.4%と目標には達しなかったが、前年度は上回る結果であった。昨年度より市の見守りサービス回数が週3回から週2回へ変更となり、昨年は利用食数の減少がみられたが、自費サービスの案内を強化したことにより利用食数の増加へと繋がった。栄養士2人体制により、利用者様の状態把握が行いやすくなり、また対応も迅速に行えたことで、より一人一人にあった配食サービスの提供ができるようになったことも新規利用の獲得、利用の継続に繋がったと考える。

今後も利用者様・家人様、ケアマネージャー様のご要望に対応できる体制を整えていき、新規利用の獲得、利用の継続を目指すとともに、引き続き自費サービスの案内を強化していく。

## 令和2年度 庄栄エルダーデイサービス/認知症対応型デイサービス 事業報告

### 【令和2年度庄栄エルダーデイサービス/認知症対応型デイサービス稼働報告】

\*上半期は4月のスタート時点でデイサービス職員の新型コロナウイルス陽性が発覚し、利用者、居宅事業所への状況説明後より急激に稼働率が低下した。

4/10(金):41名⇒4/11(土):16名。また行政の通達により4/29(水)～5/9(土)の期間は短縮営業を実施。その為、利用人数も低下していった。

そこで稼働率の向上・回復の策として7月より延長サービス(8-9h)を開始する。また、機能訓練のニーズが以前から高かった事もあり、土曜日の実施を8月から開始する。すぐに効果があり、6月の稼働率が68.7%だったのが9月では75.3%と約7%の向上があった。

下半期に関しては、デイサービス職員が新型コロナウイルスの濃厚接触者と判明し、10/10(土)と10/12(月)の2日間を営業中止とした。10月以降は、新型コロナウイルスの影響はそれ程なく、新規利用者も順調に獲得でき、12月と3月に関しては前年比100%を超える事ができた。ただし、認知症対応型デイサービスに関しては、上半期・下半期ともに稼働率が50～60%前後と、新規獲得数や一般の登録からの移行が困難だった為、伸ばす事ができなかった。

その為、年度を通しての稼働率(総利用数)に関しては、4月のスタートダッシュが出来ず、前年比率が一般デイサービス:94.9%、認知症対応型デイサービスが77.0%と上回る事ができなかった。

#### 【実績数値】

令和2年度 通所介護・総合支援事業通所介護(登録利用者数49名)

月	営業日数	通所介護	総合支援	合計	前年対比	目標	達成率
4月	26日	740名	18名	758名	76.4%	1,274名	59.4%
5月	26日	765名	25名	790名	78.3%	1,274名	62.0%
6月	26日	848名	27名	875名	92.2%	1,274名	68.6%
7月	27日	924名	35名	959名	95.8%	1,323名	72.4%
8月	26日	913名	33名	946名	97.6%	1,274名	74.2%
9月	26日	921名	39名	960名	102.2%	1,274名	75.3%
10月	25日	876名	34名	910名	88.1%	1,225名	74.2%
11月	25日	919名	41名	960名	98.0%	1,225名	78.3%
12月	27日	987名	45名	1,032名	110.5%	1,323名	78.0%
1月	24日	814名	34名	848名	94.7%	1,176名	72.1%

2月	24日	825名	29名	854名	90.0%	1,176名	72.6%
3月	27日	1,032名	25名	1,059名	114.4%	1,323名	80.0%
合計	25.75日	10,564名	385名	10,951名	94.9%	15,141名	72.3%

#### 令和2年度 認知症対応型通所介護（登録利用者数10名）

	営業日数	合計	前年対比	目標	達成率
4月	26日	107名	55.7%	260名	41.1%
5月	26日	127名	69.4%	260名	48.8%
6月	26日	121名	76.1%	260名	46.5%
7月	27日	146名	75.2%	270名	54.0%
8月	26日	144名	79.1%	260名	55.4%
9月	26日	131名	74.0%	260名	50.3%
10月	25日	122名	73.4%	250名	48.8%
11月	25日	118名	70.2%	250名	47.2%
12月	27日	136名	77.2%	270名	50.3%
1月	24日	126名	87.5%	240名	52.5%
2月	24日	108名	86.4%	240名	45.0%
3月	27日	124名	100%	270名	45.9%
合計	25.75日	1,509名	77.0%	3,090名	48.8%

#### 【業務報告】

- 1、毎月2日に係長・主任の2名にて、SS・ヘルプステーション・配食と共に実績表を持って事業所廻りの実施。
- 2、認知症対応型の新規獲得が難しい状況で、5-6時間の単位数で通常の時間より長く施設で過ごして頂ける事をケアマネに営業し、新規獲得に努めた。また、一般デイサービスから認知度の高い利用者様には、ケアマネに相談し、一般から認知症対応への移行の話をしていった。
- 3、デイサービスの行事（お楽しみ会）には、臨時利用等の声掛けを行い、利用者確保を図る。
- 4、体験利用、新規獲得の送迎範囲を距離で対応するのではなく、送迎時間にて対応を行った。
- 5、毎月、季節毎のカレンダーを職員が見本を作製し、希望される利用者様は職員と一緒に物づくりの一環として、趣味活動を実施し、プレゼントとした。
- 6、毎月第3週目は利用者様の誕生日祝いを実施。手作りの写真フレームに職員と撮った写真をプレゼントし、デイサービス全体でのイベントとした。
- 7、毎月のデイ会議後に研修（内部研修）の実施



#### 令和2年度 内部研修内容

- 4月 障害に合わせた歩行介助 担当：斎藤
- 5月 認知症研修 担当：小西
- 6月 接遇・マナー研修 担当：内田
- 7月 計画書に関する研修 担当：斎藤/入江/八木
- 8月 デイサービス職員意見交換会
- 9月 感染症に関する研修 担当：青木
- 10月 リスクマネジメント研修 担当：高/真田
- 11月 非常災害研修 担当：小林
- 12月 身体拘束研修 担当：山城
- 1月 プライバシー保護研修 担当：高柳
- 2月 法令遵守研修 担当：田中
- 3月 感染症に関する研修 担当：看護

#### \*令和2年度 外部研修内容\*

- ・今期に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、基本的には自粛する体制をとった。
- ・11月 / 第15回成光苑研究発表会 (リモート形式 in 恵みの杜) 担当：真田/青木

#### \*令和2年度 伝達研修内容\*

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で、外部研修を自粛した為、伝達研修を実施する機会が激減した。
- ・6月 / ケア記録に関する研修 part2 担当：真田

#### 【令和2年度 行事/イベント行事報告】

※毎月第1月曜日：スマイル体操・毎月第3火曜日：歌体操

#### ボランティア行事

- ・令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染防止の為、外部からのボランティア関係は先方に説明をさせていただいた上、中止・延期する事とした。

#### イベント行事

- ・デイサービス自体のイベント行事に関しても、新型コロナウイルス感染防止の為、殆どの行事を自粛する事となった。

11月11日(水)：介護の日/お客様感謝祭 参加人数：48名

- ・イベント行事が全くできなかった為、感染防止対策は万全にした上で、日ごろの感謝の気持ちを感謝祭として実施。昼食をお好み焼き/たこ焼き/うどん/コロッケ/ウインナー/フライドポテト/おにぎり(かやくご飯)/味噌汁/清汁のバイキング形式にて提供した。

2020年度前期 ホームヘルプステーション 事業報告書

※2020年度 実績目標時間数 総時間数 1

(内訳介護保険1,500時間・障がいサービス300時間 子育て支援50時間 保険外サービス 50時間)

総時間数 目標時間1900時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1531.9	1513.1	1607.3	1734.0	1557.8	1617.5	1675.7	1634.6	1622.6	1512.1	1565.5	1616.0	19187.9
目標比	81%	80%	85%	91%	82%	85%	88%	86%	85%	80%	82%	85%	84%
昨年対比	94%	92%	101%	103%	100%	107%	98%	92%	94%	88%	86%	93%	96%

〈内訳〉

介護保険 目標時間1500時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1324.4	1325.5	1372.0	1460.0	1317.5	1385.2	1446.3	1392.2	1369.1	1288.2	1283.5	1394.0	16357.9
目標比	88%	88%	91%	97%	88%	92%	96%	93%	91%	86%	86%	93%	91%
昨年対比	99%	99%	106%	103%	99%	108%	98%	91%	95%	91%	92%	93%	98%

○2020年新型コロナウイルス感染症での影響

新型コロナウイルスの影響で、サービス付き高齢者住宅への入所なども増え、多く利用していた利用者が減った  
他事業所の施設でのコロナ感染での影響で、用心してヘルパー利用を休みとなる事もあった

障害居宅サービス・移動支援 目標300時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害(全)	171.25	163	204	199.25	176	158.5	236	184	222.75	134	215	160.75	2224.5
目標比	57%	54%	68%	66%	59%	53%	79%	61%	74%	45%	72%	54%	62%
昨年対比	76%	68%	95%	89%	75%	70%	81%	87%	70%	72%	81%	85%	79%

○緊急事態宣言があるたび利用者が休み状況と、外にでる、同行援護や移動支援は全く増えなかった

子育て支援 目標50時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子育て	7.5	3.5	5	22	15.25	45.75	44.75	33	27	4.5	4.5	9	99
目標比	15%	7%	10%	44%	31%	92%	90%	66%	54%	9%	9%	18%	37%
昨年対比	18%	10%	22%	220%	508%	1144%	716%	81%	720%	39%	13%	113%	300%

○子育て支援課からの依頼も後期になり依頼がない

保険外サービス(アシスタ 目標50時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	28.8	21.0	26.4	52.0	49.0	28.1	23.9	18.0	31.7	21.0	36.7	31.6	368.0
目標比	58%	42%	53%	104%	98%	56%	48%	36%	63%	42%	73%	63%	61%
昨年対比	105%	58%	113%	163%	158%	78%	125%	125%	125%	83%	115%	125%	114%

○アシスタントサービス

ショートステイでの通院や、入所の利用者様がお困りの時に対応

## コロナ禍の中で安心してサービスが提供できるように取り組み

○新型コロナウイルス感染症の中、ヘルパー達の不安が利用者に伝わらないように対策を行った

☆新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成した。

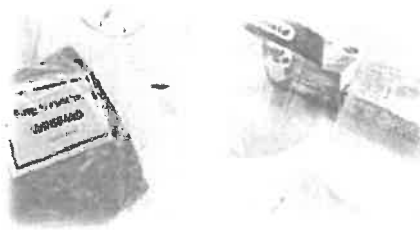
目的は、訪問に不安を感じないようにルールを決めていた。

☆助成金での物品購入が大量にできたことで、ヘルパーへ支給、サービスに少しでも安心していけるように取り組んだ  
アルコールスプレー マスク、グローブ、ゴーグル、フェイスシールド、防護服、防水エプロン

マスク、グローブは利用者ごと交換するように指導

感染予防策の研修も行き、随時メールや電話で注意を呼び掛けた。

- ・手洗いはもちろん、利用者宅入室前には、手指消毒を行い、サービス終了後も手指消毒をする事を徹底
- ・エプロンも利用者ごとに交換、サービス中は感染予防の為に窓を開ける
- ・正面での会話をしない、利用者と距離をとって話す、身体介護の場合も密着する時は会話無しで行う
- ・食事介助の場合も正面にならないように注意
- ・ヘルパーも人混みへの外出は避けていただく
- ・ヘルパーの家族との交流も注意をしていただくようにご協力をお願いした。



☆利用者様が濃厚接触者とわかった場合は

ヘルパーの訪問していた期間を調査、濃厚接触かと疑われる期間に訪問していた場合はヘルパーを自宅待機とし、そのヘルパーの担当の利用者の所は他のヘルパーやサービス提供責任者で対応、サービスに穴が空く事はなかった。

☆新型コロナ感染者又は、濃厚接触者と認められた利用者への対応として

・まず、支援者がいないという事を前提として。

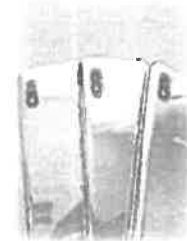
介護保険、障害サービス、保険外サービス全てにおいて、最小限の支援は行う

その場合は、最後の時間帯に訪問すること(買物支援 食事を運ぶ程度)

掃除も短時間で(トイレと寝室だけ等)

持病や免疫低下のある者、妊婦等の派遣は控え、万が一の事を考えて限定したサービス提供責任者が対応する事務所に戻らず、自宅からの訪問とする対策と決めている。

自宅でも連絡が取れる体制を整うためにスマートフォンのサービス提供責任者全員に購入もできている。



☆ヘルパーが不安にならないようにメンタル面でもしっかりフォローができたと考えられる。

ヘルパーの悩み、苦しみを自由に話ができるようにいつでも窓口を開いている環境を整えられた。

☆サービス提供責任者の船戸弥生さんが、包括支援センターに移動され、とても不安を感じたが

2021年1月より小林つばささんが入職し、経験を活かして直ぐに即戦力となった事が大きな成果と考えられる、他のサービス提供責任者も影響を受け活気が出た。

サービス提供責任者の活気はヘルパーさん達に直ぐに影響を与え、ヘルパーさんの仕事の安心と繋がっている為このコロナ禍の中で、ヘルパーさんがサービスの自粛を求めてきたことは一度も無かった。

他事業所では、コロナの影響でヘルパーが辞めてしまうという理由で、特に訪問型サービスAに関しては利用者様が他の事業所から変わってくるケースが頻繁にあったことから

庄栄エルダーのヘルパーは使命感の強い頼りになるヘルパーばかりと感じた年となった。

幸い、新型コロナ感染者となる利用者は無くヘルパーも濃厚接触者や、感染者となる事は無かった。

この状況の中、ヘルパーの家族も感染者となる事は無く、全体を通じて感染予防ができていたと考えられる。

昨年より思うように時間数を上げる事はできなかったが、一致団結で戦ったと感じた。

**【ヘルパー勉強会の充実 \* 考えて行動できるヘルパー育成**

**★勉強会内部研修内容**

月	内容
4月5月	感染症対策 リスク管理 新型コロナウイルス対策
9月10月	介護職のプライバシーを守るには
10月30日	利用者カンファレンス
12月1月	よりよいサービスは 「論理、法令遵守から」
2月	「接遇は、利用者目線で考えよう」
3月	「プライバシーの保護」

○ 新型コロナウイルス感染症対策で、外部者は施設内に入れなくなったことで資料を作成して、エルダー入り口外で2~3人ぐらい順番に日を決めて行った。外部研修は、中止になったりできていませんが資料にて研修を行った。(ヘルパル購読のおかげで資料に困る事は無かった)

以上

## 令和2年度ケアプランセンター事業報告

### ○報告事項

- 令和2年度の新規プラン数が 年々プランが減少している。  
毎月各ケアマネ1名に対しプラン数30件を維持することができなかった。  
年々、介護度の重度化による在宅介護の負担・在宅サービス費用の負担軽減のための施設入所持病の悪化による長期入院、他界の増加、昨年につき新型コロナ感染の影響による、入院・老健施設入所の長期化がみられ在宅への復帰がやや減少傾向にあったことが考えられる。  
少しでも収入アップを目指すために1件でも認定調査の件数増加の意識づけが浸透しているが、新型コロナ感染拡大の予防の緊急事態宣言が発令のため、1ヶ月間のみ認定調査の委託業務の中止、要介護認定の有効期間の長期化（3年の有効期間）による更新認定の減少が原因の一つと考えられる。

### ○取り組み事項

- 新型コロナ感染予防に重要な「3密」を防止するため、マスク・消毒液・フェイスシールド等が提供されたことにより、各ケアマネが安心して業務に携わることができた。  
また、感染拡大防止のために各ケアマネへ携帯電話を配られたことにより、リモートワークでの業務がスムーズに行うことができ、ご利用者・ご家族へ安心感をもってもらうことができた。

### ○ケアマネ活動報告

- 週1回のケアマネ会議の開催（毎週火曜日 11時～12時）

（内部研修）

- 毎月1回ケアマネ会議終了後

4月	接遇について	10月	人権について
5月	感染症について	11月	認定調査について
6月	認知症予防のための食事	12月	薬剤師による在宅訪問について
7月	緊急・災害時の対応について	1月	福祉用具について
8月	高齢者虐待について	2月	生活保護について
9月	各施設の特徴	3月	障害福祉サービスについて

### ○実績報告

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ケアプラン数	164	154	161	166	163	161
予防プラン数	36	36	38	40	44	42
認定調査件数	26	1	16	12	14	3
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ケアプラン数	160	160	157	154	153	156
予防プラン数	42	42	41	39	39	38
認定調査件数	11	17	10	10	1	16

ケアプラン数 月平均 159件  
 予防プラン数 月平均 36件  
 認定調査件数 月平均 11件

○相談件数実数

- ・今年度の相談総件数 45 件（内、ケアプランに繋がった件数 37 件）  
月平均 4 件。相談件数の内訳は包括 10 件 家族 16 件 医療機関 18 件  
他事業所（老健施設等） 1 件であった。

○サービス担当者開催件数

- ・延べ 326 件  
医師との連携 26 件

介護保険更新申請時・区分変更時・介護サービスが増えたとき・減ったときにサービス担当者会議を開催する。利用者は日々状態が変化しており、プランの変更が必要さも増えているため必要に応じて、利用者を中心に関係者が意見を出し合う場を設定していく。

○外部研修

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、地域ケア会議は中止
- ・茨木市市役所 長寿介護課主催 「ケアプラン研修」 1月5日 オンライン研修
- ・福祉用具「フロンティア」主催 「住宅改修について」1月28日 オンライン研修

○大阪府介護支援専門員 実習受入れ

- ・12月21日・29日・1月6日 (1名)
- ・2月1日・5日・8日 (1名)

○退職者

- ・廣瀬美智代

○戦略会議

- ・第1回 7月17日
- ・第2回 10月16日
- ・第3回 1月15日
- ・第4回 3月19日

**令和2年度決算期**  
**茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業**  
**社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）**  
**事業報告**

◆総論

令和2年度は、昨年度から引き続いて新型コロナウイルス感染症に振り回された一年であった。対象者への訪問や地域活動、関係機関との会議などあらゆる場面で制約を受けながらの事業運営であった。

負の感が色濃く残った一年であるが、その一方で新しい生活様式に対応すべく取り組みが出来たことは今後、同様の事態や災害時等にも活動を停滞させることなく出来る術が整備する機会となったことはある意味、収穫といえる。

令和3年度も状況は同様であるが、地域の方々と連携を図りながら生活困窮者等を埋もらすことのないよう取り組んでいきたい。

◆具体的な活動について

東小学校、白川小学校が担当校区であり、それぞれの地域で毎月1回開催される健康福祉セーフティネット会議。今年度は、新型コロナウイルス感染症により非常事態宣言が発出されたことを受け、開催の中止を余儀なくされた期間もあった。

・健康福祉セーフティネット（いきいきネット）会議開催状況

（開催回数）

東小学校区：10回      白川小学校区：9回

\* 緊急事態宣言により中止した月：令和2年4月、5月

\* 8月の白川地区はお盆期間中の為、中止した。

（参加人数）

東小学校区：延べ132名      白川小学校区：延べ261名

・電話、訪問、来所等による相談件数・月別相談件数（延べ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	23	26	21	22	19	26	21	24	18	20	18	23	261

・相談対象者内訳（延べ）

高齢者	障害者	子育て世代	その他	計
221	26	9	5	261

#### ◆茨木地区協力雇用主会の取り組みへの参画

平成26年7月より継続的に参加している浪速少年院での就労支援講座では、院生に対して、出院後の就労の魅力、自立した生活の楽しさなどをテーマに定期的に講演してきた。

また、出院準備生を社会参加への第一歩として、社会奉仕活動を庄栄エルダーセンターにて毎月一回、4名ほどを受け入れ、車椅子などの手入れ等を行い、利用者から「ありがとう」と感謝されることの喜びを体験してもらっていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため講演及び社会奉仕活動とも、実施できなかった。

#### ◆茨木市CSW協議会としての取り組みについて

新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式の中で、対象者の関わり方や支援方法、関係機関とのオンラインによる会議の試行など、今後同様の事態が発生した場合に備えた体制作りが出来た。

また、昨年度に引き続き子ども若者支援をテーマに小中学校、関係機関との意見交換会なども開催した。

#### ◆社会貢献（レスキュー）事業について

今期については以下の3件の該当ケースがあった。

- ① 多重債務処理により持ち家を手放された知的障害の男性の住居確保等。
- ② ご主人が急逝され、年金だけでは家賃が払えない独居高齢者女性の転居費用等。
- ③ 精神疾患の母親から経済的虐待を受けている30代女性の住居確保等。

以上

### **(報告書要約版)**

令和2年度も新型コロナウイルス感染症のため、対象者への訪問、地域活動が制限され例年と比較して、活発な活動が出来なかった。

その反面、これまでになかったオンライン会議や対象者とのメールでの相談受付など、非接触型支援が試行できたことは、今後同様の事態や災害時にも活かせることが、関係者と共に認識できたことは、大きな収穫である。



## <令和2年度 茨木市地域包括支援センターエルダー 事業報告書>

新型コロナウイルスの影響で地域活動等が中止となり、地域包括支援センターとして対外的な活動ができなかった。そして、会議等も中止となり、関係機関との連携も十分におこなえなかった。そのこともあり、高齢者のフレイル予防のため、担当利用者、介護保険新規申請者に対し、運動や活動の大切さを啓発、リハビリ導入など小まめな働きかけをおこなった。

### 1. 介護予防マネジメント業務

(一人20件制限のため、4月～6月は20件×5人＝100件/月、8月～1月は20件×4人＝80件/月、2月～3月は20件×5人＝100件/月を目標とした。)

#### ①総合事業（ヘルパー、デイのみ利用の方）

☆包括独自プラン．．． 548件/年（内新規10件）

☆委託プラン．．．．． 1334件/年（内新規62件）

#### ②予防給付（福祉用具レンタル、訪問看護、デイケアを単独利用若しくは総合事業と併用利用の方）

☆包括独自プラン．．． 531件/年（内新規作成6件）

☆委託プラン．．．．． 1883件/年（内新規作成60件）

### <地区福祉委員会事業>

☆サロン、給食会等【三島小学校区、庄栄小学校区、太田小学校区、西河原小学校区】  
1回（血圧測定、個別相談 延べ4名）

●6月に1回のみサロンが開催された。前年度より49回の減少。

☆地区相談会【太田小学校区、西河原小学校区】

0回（血圧測定、個別相談 0名）

●前年度より、10件減少。

### 2. 総合相談

介護保険未申請及び認定があってもサービス利用にむずびついていない方の相談

☆ 関係機関（ケアマネ、医療機関等）．．．．． 延べ569件（前年度より、11件減少）

☆ 住民（本人、家族、知人等）．．．．． 延べ1138件（前年度より、92件減少）

### 3. 権利擁護事業

☆ 成年後見制度．． 延べ23件（前年度より、12件増）

☆ 消費者被害．． 延べ0件（前年度より、1件増）

☆ 虐待．．． 5人（疑い含む）【身体的1件、介護放棄1件、経済的0件、心理的3件】※重複あり

●本年度は、2人分離（施設入所）、1人一般病院入院、2人サービス増やす等にて在宅生活。

1人の虐待者は、傷害で拘留されるほどの怪我を被虐待者に負わせた。次年度も対応継続は1人。

### 4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

☆ ケアマネに対する個別指導・相談．．．．． 72回（前年度より、139回減）

☆ 関係機関との連携づくり※．．．．． 70回（前年度より、162回減）

※セーフティーネット会議（庄栄地区、三島地区、西河原地区、太田地区）、

グループホーム、小規模多機能施設運営推進会議（みしま苑、グループホーム末広、庄栄エルダーデイサービス、デイ100、グループホーム美咲、小規模多機能型居宅介護ばるの家）、

地区相談会、サロン、連絡会や会議等。

☆支援困難ケース※……………新規11人（前年度より、7人減）

※本人や家族に障害（精神、知的）、虐待、問題行動を伴う認知症状等の9項目に分類。

対応（電話や訪問、ケースカンファレンス等）は、158回（前年度より、103回減）。

## 5. 地域ケア会議【自立支援型地域ケア会議】

日にち	時間	場所	事例内容	参加人数
6月23日	13:30~14:30	三島コミュニティーセンター	①社会交流や地域活動から遠ざかっている方の今後の心配。	13
7月17日	13:30~14:30	三島コミュニティーセンター	②運動を意識し過度な運動量になって、病状悪化が心配。	16
9月25日	13:30~14:20	三島コミュニティーセンター	③膝関節が悪化し、将来の不安が強い方の支援。	12
11月27日	13:30~14:30	三島コミュニティーセンター	事例①モニタリング	10
1月22日	13:30~14:30	三島コミュニティーセンター	事例②モニタリング	12
2月26日	13:30~14:20	三島コミュニティーセンター	事例③モニタリング	9

## 6. その他

### ①〈会議〉

- ・茨木市地域包括支援センター運営協議会（年3回→年1回）
- ・茨木市地域包括支援センター連絡会（毎月→年10回）
- ・茨木市総合事業連絡会（毎月→年10回）
- ・茨木市認知症地域連携連絡協議会（年3回→0回）
- ・レビュー会議【虐待評価】（年3回）
- ・茨木市地域包括支援センター主任介護支援専門員連絡会（毎月→年9回）
- ・茨木市地域包括支援センター医療職連絡会（毎月）
- ・茨木市地域包括支援センター社会福祉士連絡会（レビュー会議以外の月、年9回→年6回）
- ・茨木市認知症地域支援員との連携会議（年3回→年1回）
- ・茨木市立総持寺いのち・愛・ゆめセンター支援方策会議（年1回→0回）
- ・相談機能強化事業連携会議（年2回→年6回）

#### 〈研修会開催等〉

- ・一度も開催できず。

#### 〈実習生〉

- ・藍野短大専攻科（11月 2日間 2名）

## 人員（平成31年3月末現在）※1

センター長(社会福祉士兼務)	1名
看護師	2名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	1名
介護支援専門員	1名

※令和2年7月31日 社会福祉士退職。

令和3年1月15日 社会福祉士退職。

令和2年11月16日 介護支援専門員入職。

令和2年12月16日 社会福祉士入職。

## 〈 東・白川 地域包括支援センター 〉 令和2年度事業報告

### ○概要

東・白川エリアにおいて、平成31年4月に東・白川地域包括支援センターがオープンし、2年が過ぎました。地域で暮らす高齢者の心身の健康保持や福祉の増進等のために様々な活動に取り組んでいますが、今年度はコロナにより、多くの方が集まる場や活動は殆どが中止となりました。

このような中、地域ケア会議は、年間6回の開催目標を達成することができました。

また、地域住民からの相談は、感染対策を講じたうえで、今までと変わらず行っており、相談件数も維持しています。ご自宅への訪問相談にも随時対応しております。

今後も、関係機関とのネットワークを強化し、包括的な支援を行っていきます。

### ○3つの目標に対して

1. 新たな連携先の開発として、住民主催の街角デイハウスに伺い、健康講話と包括のチラシの配布にて東・白川包括の周知・啓発を行いました。  
また、総持寺団地にて市役所関係機関協力のもと、「認知症高齢者徘徊模擬訓練」を開催し、認知症高齢者への支援の啓発、包括の周知啓発を行いました。
2. オンライン研修会に積極的に参加し、知識を深め、共有しております。
3. 4人体制での運営ですが、当日の訪問相談にも対応するなど、信頼される機関となるよう職員一丸となり努めております。

### ○活動報告

#### 1. 総合支援事業に関するケアマネジメント業務

- ①訪問型サービス、通所型サービス、短期集中サービス等の特徴などの理解を深め、特に、新規の方には訪問型サービスAのサービスを推進しています。
- ②3月から、徐々に一部の地域のサロン・カフェが再開した際には感染対策を図って参加しました。新たな連携先の開発として、3月には住民主催の街角デイハウスに伺い、健康講話と包括のチラシの配布にて東・白川包括の周知・啓発を行いました。  
コロナ感染状況に合わせて、高齢者の実態把握・顔の見える関係作りの新たな方法を模索していきます。

#### 2. 予防給付に関するケアマネジメント業務

- ①要支援認定者に対して、適切なアセスメントに基づき、プラン作成いたしました。  
委託先の居宅介護支援事業所への助言・指導も併せて実施しました。
- ②要支援から要介護となった利用者様（今年度47名）新規申請から要介護認定の

方（39名）に対して、居宅介護支援事業所に迅速に繋ぎ、移行しました。

### 3. 総合相談・支援事業

- ①ワンストップ相談窓口として、今年度延べ 2607 件の電話や来所相談に対応し、1950 件の自宅訪問での対応を行いました。
- ②コロナ禍により、病院でのカンファレンスや、サービス担当者会議も縮小しなければならぬ事が多かったですが、今まで培ってきた関係性により、電話等でのやりとりにて茨木市内の全包括、行政、関係機関・隣接する病院や事業所との連携・情報交換も迅速、適切に行うことができました。

### 4. 権利擁護事業

- ①虐待等のケースに対して、包括三職種で情報共有し、安全を迅速に確認するとともに、相談支援課やサービス事業所とも連携し、支援を行うことができました。（定期的にモニタリング実施）
- ③消費者被害等の防止のため、セーフティネット会議や民生定例会等にて地域住民への情報提供、啓発に努めました。
- ④成年後見制度について、ケアマネからの相談にも情報提供や助言を行いました。

### 5. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ①居宅介護支援専門員が抱える困難事例等に対し、随時、指導・助言もしくは同行訪問等の連携を行いました。
- ②圏域のケアマネ向けにオンラインでの包括主催の研修会を開催しました。

### 6. 地域ケア会議の実施

- ①茨木市と協議し感染状況をみながら、年6回開催することができました。自立支援型・複合課題事例・地域資源の開発等の内容で行い、地域の課題解決に向けて生活支援コーディネーター主催の定例会議へと引き継ぐこともできました。関係機関との連携を深めるとともに、ケアマネジャーのスキルアップにも活用しています。
- ②総持寺団地の社会資源開発のきっかけになる地域ケア会議を実施することができました。地域の課題解決に向けて生活支援コーディネーター主催の定例会議へと引き継ぐこともできました。今後も生活支援コーディネーターを中心に、地域の居場所作りを検討していきます。

### 7. その他

- ①個人情報の保護・管理を徹底して行いました。
- ②夜間・休日等も転送電話により24時間体制で対応しました。

### ★地域活動

		(年間実績)
・セーフティネット会議	(6月～再開)	(20回)
・東・白川民生定例会		(8回)

- ・地域での血圧測定・相談会 (7回)
- ・街角デイハウス：コアな仲間 (1回)
- ・総持寺団地 認知症高齢者徘徊模擬訓練 (1回)

※ 給食会年間中止・サロン喫茶等も中止の延長により減少

★会議等

- ・地域包括支援センター運営協議会 (1回)
- ・地域包括支援センター連絡会 毎月第3水曜日 (4回)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業連絡会 毎月第3水曜日 (4回)
- ・主任ケアマネ会議 毎月第3金曜日 (5回)
- ・医療職会議 毎月第4火曜日 (6回)
- ・社会福祉士会議 毎月第2火曜日 (4回)
- ・高齢者虐待レビュー会議（全体の評価・振り返り） (2回)
- ・認知症地域連携連絡協議会 (1回)
- ・東圏域ワーキング (3回)
- ・総持寺ささえあいミーティング (5回)
- ・すまいるデイサービス 地域密着型通所介護運営推進会議 (1回)
- ・(複合型)個別ケース検討会議（こども相談係主催、） (1回)

◎売上報告

- ・自己プラン 目標 80件(20件×4人) / 月 に対して  
→令和3年3月 は 72件(達成率90%) ↑

・売上実績は下記の通りです。

令和2年度 売り上げ実績(予防+総合)	総合計
プラン数	845
①介護予防プラン料	3896295
内新規プラン数	34
②初回加算	109140
<b>介護予防プラン料総額(①+②)</b>	<b>4005435</b>

## 事務所

○職員 入職 吉田香織(特養)4月1日 久保奈津未(特養)4月29日 鳥居大路絢子(看護師)9月1日  
 高山加奈子(特養)9月10日 柴田咲帆(地域包括)9月23日 山東侑里香(特養)9月16日  
 森田創施(特養)11月1日 石田奈月(看護師) 宮川直也(特養)12月1日  
 生野佳代子(特養)12月1日 森山友紹(地域包括) 上新原利行(デイ)12月23日  
 小林つばさ(ヘルプステーション)1月1日 吉田美歩(特養)1月16日 川口絵梨香(特養)2月1日  
 退職 牧瀬悠吾(特養)5月15日 八柄輝男(デイ)5月15日 山本陽子(地域包括)7月31日  
 上嶋美歩(デイ)8月28日 工藤強(特養)9月15日 松田健太郎(特養)9月15日  
 鳥井山かおる(看護師)10月15日 常松健(特養)10月31日 久保奈津未(特養)12月30日  
 柴田咲帆(地域包括)1月15日 古谷晴香(特養)3月31日

○戦略会議 令和2年度 第1四半期 令和2年7月17日  
 第2四半期 新型コロナウイルス感染予防の為紙面による開催  
 第3四半期 新型コロナウイルス感染予防の為紙面による開催  
 決算期 新型コロナウイルス感染予防の為紙面による開催

○感謝のタペ コロナウイルス感染予防の為開催中止

○人事評価会議 6月24日 6月26日 11月27日 12月2日

○職員確保計画 来期に向かったの職員採用の計画

- 1・専門学校・短大・福祉系高校の求人訪問と実習先の依頼
- 2・ホームページによる求人
- 3・ハローワークによる求人

○ストレスチェック制度実施 7月21・23日 定期健康診断に加え実施

○住宅確保要配慮者居住支援法人事業開設 2月8日

## 令和2年度研修報告

	月/日	研修内容
高野典子・船曳理恵・泉晶子	9/7	自主点検支援業務事業説明会(オンライン)
神野享士	9/10	地域共生社会の実現に向けて～包括的な支援体制の取り組み～
神野享士	10/30	地域共生社会とグローバル定義について ～茨木市csw活動の評価と見える化～
神野享士	12/7	学校におけるsswとcswとの連携について
神野享士	12/16	人権を考える市民の集い
神野享士	1/25	

※コロナウイルス感染予防のため研修開催延期により参加できず。 25



## 令和3年度 地域密着型認知症対応型デイサービスセンター未来事業報告

### 〔令和3年度事業報告事項〕

2020年4月7日より国から緊急事態宣言が出たことにより、家族様からの要望により通所控えをしたい方が3名おられました。売り上げにおいても前年比より70.0%となってしまいました。

未来では安心面においても重点的に検討し 大阪府・厚生労働省・茨木市より77,500円の補助金で 次亜塩素酸ナトリウム発生装置ジアイーノ・非接触型体温計・会議などに使用するパソコンを導入しました。また、感染予防の徹底を考慮しまして手袋・マスク・アルコール消毒液についても補充を行っています。

その事家族様・ケアマネ様にアピールしたことにより5月よりすべてのご利用者様が未来来所に戻って来てくれておられます。

1年間未来より コロナウイルス感染症を出す事が無かった為、安全面についてもアピールにつながったと考えます。

年間売上ににつきまして昨年対比の101.1%となっております。

### デイサービスセンター未来の運営事業に関する報告

- ☆ 外出拒否の認知症の方に対する関わり方を考えました。
  - ： 何度も自宅に出向き、馴染みの顔として認識して頂き、信頼関係を築きました。結果 何人かのご利用者様の定期利用に繋がりました。
- ☆ 「料理セレクト式」企画を実施しました。
  - ： ご自身で選べる嬉しさや楽しさを知って頂く企画を積極的に実施し、「未来新聞」「未来通信」で告知し、ご利用者様・ご家族様の満足度アップに繋げていきました。
- ☆ 単位数の足りない独居の方や昼間独居のご利用者様の服薬・更衣・朝食など、ご自宅サービスのお手伝いなどを実施しました。
  - ： ご家族様やケアマネ様の信頼獲得に繋がり、新規の獲得にも繋がっています。
- ☆ 分母の実績を減らす事のないように 感染予防を徹底しながらイベントを行いました。
  - ： 行事やイベントの企画をすることで利用者様の人数を増やすことが出来ました。また、イベントはすごく喜ばれて臨時利用されるご利用者様も増えてきています。
- ☆ 2021年4月の改正に向けて 職員全員が介護福祉士という事もありサービス提供体制加算1の加算が取れる方向にて調整しました。
  - ： 全員が介護福祉士という専門職であるので、認知症の方に対する手厚い介護を今後も行っていき 未来の良さを地域の方やケアマネ様にアピールを行っていきます。今後LIFEなどの導入も視野に入れていきます。
- ☆ ご利用者様に生活役割支援を行います。
  - ： 食器拭きや、下膳、洗濯干しなど生活リハビリを取り入れ ご自身で完成させた手工芸作品を自宅に持ち帰って飾って頂き ご利用者様の自信回復に繋げて認知症の進行を防ぎ、家族様やケアマネ様にも喜んで頂けるよう支援して参ります。



○中長期計画に基づき 全体的なコロナウイルス感染症対策を行っております。

職員全員に徹底した意識改革を行っています。

○中長期計画に基づき ご利用者様の意思及び人格を尊重します。

今後ある認知症実践者研修に全ての職員が参加し、認知症の方に対しての関わり方を充実させます。

○中長期計画に基づき 常に向上心を持って介護技術を高めます。

コロナウイルス感染症の為研修がほぼリモートになってしまっていますが自分たちで勉強会を開催させ、レベルアップに繋がります。

☆運営推進会議

2020年 5月21日 書面にて開催	12名	家族様 民生委員 ケアマネ様
2020年11月26日 書面にて開催	8名	ご本人様 地域包括センター様など

内容 活動業況の報告

2020年度の、事業計画、目標、行動一覧表、要慮者避難施設、職員外部研修計画についての報告を行いました。認知症対応型通所介護のあり方、今後の協力をお願いしました。コロナウイルス感染拡大予防の為書面にての開催になりましたが また落ち着いたときに集まり、未来の今後の運営などにおいてもご指導を頂きたいと思っております。

[実績報告]

年月	営業日数(日)	目標	利用者様(名)	一日平均利用者様人数(名)	目標達成率	前年対比
2020年4月	26	312	210	8.1	67.3%	79.0%
5月	26	312	210	8.1	67.3%	81.1%
6月	26	312	221	8.5	70.8%	89.1%
7月	27	324	246	10.0	75.9%	95.0%
8月	26	312	225	8.7	72.1%	93.0%
9月	26	312	225	8.7	72.1%	90.4%
10月	27	324	276	10.2	85.2%	116.5%
11月	26	312	258	9.9	82.7%	111.6%
12月	27	324	250	9.3	77.2%	108.7%
2021年1月	24	288	253	10.5	87.8%	130.1%
2月	24	288	232	9.7	80.6%	114.3%
3月	27	324	267	9.9	82.4%	114.3%
合計	312	3744	2873	-	-	-
年間平均	-	-	-	9.2	76.7%	101.1%

ご利用者の獲得を増やし分母の数が24名になりました。コロナウイルス感染症の為難しかった新規獲得ですが、昨年対比101.1%と上昇させることができました。

今後も職員が一丸となり、今後の新規獲得に向けても前向きにいきたいと思っております。

[勉強会]

2020年	内部勉強会内容	感想・勉強したこと	担当者名
4月17日	業務改善 (業務検討・マニュアル)	①現状分析②改善策立案③改善導入④評価・再見直し 上記の4つのサイクルを確立して、より良い業務改善の意識を学びました。 認知症の方の喉詰り、口腔ケアの大切さ、食事中の姿勢などを学びました。 誤嚥事故を防ぐ「食事の際の見守り」の重要性の周知徹底を学びました。	田中
5月23日	リスクマネジメント	一般避難者と体調不良避難者の動線・移住スペース、トイレ等の分離 密閉・密集・密接の3密を避けた移住スペースの確保を学びました。	長田
6月17日	緊急時の対応 コロナウイルス感染症対策	援助者の対応で行動・心理症状を助長する、行動・心理症状の発症前には 「いつもと違うサイン」があることなどを重点的に学びました。	河田
7月17日	認知症ケアについて	老人ホームでの食中毒事例を下に、加湿器などによる温湿管理、手洗いの徹底、手の触れる場所の消毒、連絡体制などを学びました。	宮本
8月29日	感染症・食中毒事例検討	ユマチュードを構成する4つの柱「見る」「話す」「触れる」「立つ」や「人としての尊厳を尊重し大切にする。」などを学びました。	小西
9月25日	人権研修	事例の状況にて、課題を整理して本人の状態や状況を確認して、課題の背景や原因などを整理していき、本人の本当のつらさや不安・願いに気付く。	井上
10月9日	認知症事例検討 (認知症ケア高度化事業)	介護職の接遇、押さえておく3つのポイントとして、①声掛け②傾聴③身だしなみを学習しました。質の高いサービスの実践の周知徹底。	馬場
11月13日	接遇・マナーについて	虐待の種類や虐待が起こる理由を分析して、高齢者虐待への理解を深める努力が防止に繋がるということを学習しました。	井上
12月18日	身体拘束・虐待	コロナウイルス事例で、1週間自主休業したデイサービスの事例を下に 感染後の早い段階で確実な情報を書面作成や早急な対応の必要性を学習。	田中
2021年	感染症・食中毒事例検討	日常の業務などに疑問を感じたら、それを声に出すことなどで働きやすい職場になり、地域からも信頼される法人になるということを学びました。	長田
1月15日	倫理・法令順守について	認知症利用者の避難訓練においては、出来るだけ分かり易い短い言葉選びをし、コロナウイルス禍の避難訓練は密を避けるというものの周知徹底。	小西
2月12日	非常時の訓練		河田

2020年度のイベント

日	場所	利用者 参加人数	前年度 参加人数	担当	状況報告
4月7日	桜の会	11名	-	長田	皆様で製作した「桜の花と木」の前で記念撮影しながらピンゴ大会で大盛り上がりでした。 たくさんの景品もあって、皆様、笑顔笑顔ご利用者様はとてまぶされておられました。 目的・趣旨：春の季節感を感じて頂き、ご自身の作品で喜びを感じてもらいました。
4月18日	駅弁・温泉パーティー (大分編)	11名	-	小西	大分駅名物駅弁「とり天」でランチパーティーをしました。名湯「湯布院温泉」の入浴していただき、身も心も旅行気分、皆様和気あいあい良い表情をされていました。 目的・趣旨：年齢的な事やコロナ禍で、旅行や出掛けることが出来ない皆様に温泉やランチを味わって頂きました。 若い時の写真をご家族様に用意して頂きました。 昔のお話をして頂きました。「昔はこんなのだったよ。」などと苦労話もしていただきました。 目的・趣旨：若い時の回憶法などを取り入れ認知症緩和の為 企画・開催しました。
4月23日	若い頃を 思い出そう会	10名	12名	井上	母の日にお花と手作りカードのプレゼントをささせて頂きました。とても喜ばれておられました。 目的・趣旨：ご自身が母として活躍していた頃などを回想して頂いたり、又日頃の感謝を込めて開催しました。活躍した時代を感じて頂く為に企画させて頂きました。 コロナ対策の為、室内でのイベントとなりました。 皆様の「バラの花」をプレゼントさせて頂きました。 感謝のメッセージカードも喜んで下さっていました。 目的・趣旨：認知症予防として、初夏の季節を感じて頂く為に企画、開催しました。
5月9日	母の日会	10名	12名	田中	室内にて、買い物競争や巻き巻きゲームなどで楽しんで頂き、コロナ禍気分転換になり、いきいきとした表情でした。 目的・趣旨：認知症予防として、外出して初夏の季節を五感で感じて頂く為に企画、開催しました。
5月21日	バラ公園散策	12名	11名	河田	屋台を手作りして、お祭りの定番「屋台焼きそば」を再現して、B級グルメの王様を召し上がっていただき、お祭りの気分を満喫していただきました。 目的・趣旨：コロナ禍なので、外出できない為にお祭りの露店気分を味わって頂く為、企画・開催しました。
5月26日	大運動会	12名	-	井上	皆様の日頃の感謝を込めて写真入りメッセージカードをプレゼントさせて頂き、皆様笑顔も多くとっても嬉しそうにされていました。 目的・趣旨：お子様と元気に活躍されていた時代を回想して頂き、また感謝から企画・開催させて頂きました。
6月2日	屋台焼きそば 会	10名	-	小西	
6月20日	父の日	11名	-	河田	

6月25日	あじさい会	12名	一	長田	皆様で製作した「あじさい」の作品の前で記念撮影しました。ご自身たちの作品にとても満足しておられました。特別メニューの「松花糖弁当」も堪能されました。 目的・趣旨：コロナ禍なので、外出イベントができない季節感を味わって頂き、認知症進行防止の為、企画しました。
7月7日	七夕会	11名	12名	田中	短冊にそれぞれ願い事を書いていただき飾りつけをしました。短冊の前で写真撮影をしたりレクリエーションをして楽しみました。 目的・趣旨：考えて書くという事が難しくなっております利用者様にもお願ひをするという企画をしました。
7月21日	うなぎ パーティー	11名	一	井上	土用丑の日、うなぎたつぷりの井で、皆様に召し上がっていただきました。「夏はうなぎね。」と大好評でした。 目的・趣旨：コロナウイルスや暑い夏を乗り切る為、また夏を感じて頂く為に、企画しました。
7月25日	夏を乗り切り う会	11名	8名	井上	暑い夏を体調を崩さないように気を付けて欲しいという気持ちを含めて開催しました。スイカ割り大会をしたりピンゴ大会で皆様、暑情暑かに過ごされていきました。 目的・趣旨：夏の季節感を味わってもえらるるように企画しました。
8月8日	沖繩グルメ会	11名	一	長田	沖繩の郷土料理（ゴーヤチャンプルー・ラフテー）を召し上がって頂き、沖繩旅行や戦争の話で皆様、回想して下さいました。 目的・趣旨：沖繩旅行へ行つた気分を味わって頂きたいと企画・開催させて頂きました。
8月18日	ひまわり会	8名	一	小西	皆様で製作した「ひまわり」で記念撮影会をしました。ご自身の作品を観て、とても喜んでおられました。 目的・趣旨：ご自身の作品を観ることによって、自信を回復していただき、認知症進行の防止などを目指しました。
8月27日	未来夏祭り	11名	12名	井上	夏祭りを開催しました。夏祭りを開催するにあたって準備等細かいところまで打ち合わせをしました。 ご利用者様も喜んで頂く企画ですが職員も楽しめる行事としておこなっています。 目的・趣旨：夏の季節感を味わってもえらるるように企画しました。また夏祭りの雰囲気を感じて頂きました。
9月5日	揚げ物 バイキング会	11名	一	小西	「海老カツ」「豚カツ」「白身カツ」の中から好きな串カツ2品を選んで頂くとても好評な企画でした。 目的・趣旨：「選べる楽しみ」の企画として、日頃利用者様の選好行為がそう多くないと考えて、企画しました。

9月17日	コスモス会	11名	小西	皆様に製作した「コスモスの花束」を持って記念撮影をしました。皆様、素晴らしい笑顔で写っていました。 目的・趣旨：ご自身の作品を観ることによって、自信を回復していただき、認知症進行の防止などを目指しました。
9月21日	敬老会	8名	河田	日頃の感謝を込めてお祝いさせていただきます。 赤や白など色とりどりのカーネーションの花束をお渡しさせていただきました。とても喜ばれておられました。 目的・趣旨：利用者が今まで頑張っておられた話などをお聞きする回想法や日頃の感謝を込めて実施しました。 句の松茸ごはんとトンカツや魚のフライなど「選べるおかず」などで皆様、とても喜ばれていました。 目的・趣旨：外出の機会を作って 認知症緩和に繋がるように 企画・開催しました。
10月10日	松茸ごはんとセレクトメニュー	12名	長田	パン食い競争、玉入れ、借り物競争、ビンゴ大会などで盛り上がりました。皆様、本当に楽しく交流出来ました。 目的・趣旨：秋を感じて頂くことや、運動会を思い出してもらおう回想法として実施しました。
10月22日	大運動会	12名	田中	昨年も開催しましたがハロウィンパーティーはなにかな？といった様子でした。しかし仮装をするとご機嫌でした。かぼちゃ料理も大好評でした。 目的・趣旨：現代のイベントなども取り入れ新しい事を体に取り込んでいく企画提案しました。
10月31日	ハッピーハロウィン会	9名	井上	コロナ対策の為、室内でのイベントとなりました。 変わりに、皆様で作った「もみじ」を持っていただきにっこりと笑顔の記念撮影しました。 目的・趣旨：認知症予防として、室内で秋の季節を感じて頂く為に企画、開催しました。
11月3日	もみじ会	11名	小西	熊本郷土料理を召し上がって頂きました。またホットケーキも作って、皆様で食べアットホームで良い雰囲気でした。 目的・趣旨：全国の郷土料理を堪能して下さり、味覚での認知症予防に繋げる為、企画しました。 句のさつまいも特別昼食で皆様、楽しく会食され「本当に美味しいね。」と大好評でした。 目的・趣旨：秋を食で感じてもらえらるるよう、季節を感じて頂ければと企画・開催しました。
11月14日	くまもんパーティー	12名	井上	寒い時にはやっぱりお鍋ね。」と皆様、ほくほくと召し上がって下さり、一家団欒の頃を思い出していました。 目的・趣旨：寒い冬もお鍋でほっこりして頂けるように身も心も温かくなるように企画させて頂きました。
11月24日	さつまいもパーティー	8名	田中	
12月8日	ちゃんこ鍋パーティー	9名	長田	

12月24日	クリスマス会	10名	9名	河田	職員によりますハンドベルやサンタの衣装に身をまとい写真撮影なども行いました。子育て時代の頃を思い出しておられる表情でした。 目的・趣旨：クリスマスの雰囲気や年末を感じて頂き、又、回想法も取り入れた認知症の進行防止の為実施。 新年をお祝いして、書初めをして頂きました。 お昼からは職員手作りの福笑いをつくり全員で福笑いを楽しみました。初笑いで楽しく過ごされています。 目的・趣旨：新年の雰囲気を感じて頂き、又「福笑い」などでの回想法での認知症進行の防止の為実施しました。 15日の鏡開きをお祝いして、「ぜんざい」を皆様で食べました。「とても甘くて元気がでる!!!」と大好評でした。 目的・趣旨：季節を味覚で感じていただく企画で、回想法としての目的もありました。 鬼に扮した職員めがけてお手玉を投げて皆様「福」を呼び込んで下さっていました。数々のゲームで盛り上がり下さり笑顔の一日となりました。 目的・趣旨：節分の雰囲気を感じて頂く為実施しました。また、昔の節分を回想着て頂きました。 チョコレートのあげた話 もらった話をしました。 ピンゴ大会でプレゼントも当たって、利用者の皆様大変盛り上がりくれました。 目的・趣旨：バレンタインデーズ雰囲気を感じて貰いました。数字を使ったイベントでは認知症予防に繋がる企画としてあげさせて頂きました。 刺身盛り合わせ昼食と草津温泉の入浴剤で群馬県への旅行した気分を味わって下さり、大好評でした。 目的・趣旨：外出の機会が少ない利用者様に、旅行気分を味わって頂く為、企画しました。 「選べる楽しさ」を皆様、味わって下さり、食欲もいつもより旺盛で、大好評の企画となりました。 目的・趣旨：選択する楽しさを味わっていただきたい自己決定意欲も高まるという目的・趣旨でした。 皆様が共同作業で作った、織姫と彦星の輪でひとりひとり写真撮影を行いました。 笑顔も多く写真撮影おいてもなりきっておられました。 目的・趣旨：ひなまつりの雰囲気を感じて頂く為、また、子育ての頃を回想着て頂く為、実施しました。 皆様で作成した「桜」の前で記念撮影会をしました。 やっとなつた春を皆様で喜びました。 目的・趣旨：ご自身で作成した「桜」の作品を観て自信の回復になり、認知症の進行防止の為企画・開催しました。
2021年1月9日	ハッピーニューイヤー会	12名	12名	河田	
1月23日	鏡開き会	12名	-	井上	
2月4日	節分会	12名	12名	小西	
2月13日	バレンタインデー大ビンゴ大会	12名	9名	田中	
2月16日	群馬旅館料理と温泉会	9名	-	長田	
2月23日	カレーライストッピングセレクト会	10名	-	井上	
3月3日	ひなまつり会	12名	12名	小西	
3月20日	春が来た会	7名	12名	田中	